

「宇治田原町空家等対策計画」改定素案パブリックコメント ご意見の整理(提出順) ①

1 ご意見の骨子（事務局まとめ案）

- 素案にある空家所有者へのアプローチの工夫を行う必要性の中では、より具体的な移住定住・利用希望者の思いや「生の声」を所有者へ伝えるやり方もある。
- 居住用として賃貸・譲渡する以外にも地域資源としての活用やモデル事業、企業従業員向けの宿舍や社会福祉施設への活用、災害時の一時避難場所、地元住民の憩いの場としての活用も考えられる。
- 支援制度の充実も空家問題の課題改善につながる。

2 ご意見等の内容（原文）

該当ページ等	ご意見・ご提案等
P18 及び P23	空家問題は、高齢化社会が進み団塊世代の相続を受ける形で空家が急速に増加し、相続を受けた空家所有者が空家の管理や活用についての課題を抱えていることが問題とされています。その課題は、法律や税制に関するもの、利活用に関するものや相続問題など、物理的な問題であることが多いため、簡単には解決することが難しいのが現状です。 今回の対策計画改訂（案）の中にも、空家所有者へのアプローチの工夫を行う必要性に触れていることから、例えば、移住定住のために空家の利用を希望されている側からの「生の声」を所有者側に伝える等の方法が考えられます。具体的には、住みたい方の家族構成や人となりのほか、月々〇万円なら賃貸をお願いしたいであるとか、購入額〇万円なら物件を購入したいであるとか、より具体的な利用希望者側の思いや声を、所有者側へ伝える、アプローチの仕方もあるのではないかと思います。 また、空家は居住用として利用希望者に貸すことや譲渡すること以外にも、地域資源として様々な活用方法やモデル事業を展開していく方向性もあり、企業従業員向けの宿舍への利用や社会福祉施設への活用、また、災害時の一時避難所、地元住民の憩いの場として活用も考えられます。 空家問題における様々な課題に対し、支援制度の充実や本町の強みを生かした活用方法を駆使してくことで、少しずつ改善されていくものと思います。